

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



ボランティアニュース

252号 2025年 1月

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦典

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>



オレンジクラブの活動に触れて

副院長兼看護局長 樋口美佳

あけましておめでとうございます。

副院長兼看護局長の樋口美佳と申します。昨年の4月に現職を拝命し、それまでは県立病院機構の成人対象の病院に勤務していました。こども医療センターに勤務するのは初めてで、とても緊張していたことを思い出します。

病院に入って目に飛び込んだのは、院内を明るく飾っている手作り作品の数々。とても素敵で、思わず足を止めて見入ってしまいました。他にも、渡り廊下のかわいいアート、花壇や屋上庭園のきれいな花々、ご家族へのピアサポートと図書の貸し出しや読み聞かせ、工夫を凝らしたきょうだいのお預かり、素晴らしく精巧な折り紙作品の数々、音楽やお楽しみのイベントなど、オレンジクラブの皆様のボランティア活動であることを知り、とても驚きました。他の病院にはない患者さんやご家族への温かさが感じられ、その先にはみんなの「えがお」が浮かびます。そして、私自身の緊張していた気持ちも、いつの間にかワクワクに変わっていました。院内のあちこちで、オレンジのエプロンやストラップをつけた方々が優しい笑顔で対応なさっている姿に触れ、こども医療センターはオレンジクラブに支えられていることを実感しています。

当センターは、県内唯一の小児専門総合医療施設として高度で先進的な医療を提供しています。子ども達は、ご家族や大切な人と過ごす時間が制限され、厳しい治療や嫌なことにも立ち向かわなければなりません。私たち医療者は、どれだけ我慢をさせていることでしょうか。その中で、安心できる、ホッとできる安らぎの環境を作り、子ども達の心を豊かにしてくださっているオレンジクラブの皆様には、感謝の念が堪えません。本当にありがとうございます。

今年もたくさんの「えがお」の花が咲く一年になりますように。本年もどうぞよろしくお願いたします。



12月25日、こども医療センターNICUで相川七瀬さんのクリスマス訪問がありました。「我が子と過ごせる新生児集中治療室(NICU)」を目指したNICU改築に共感していただき、2018年以降、毎年クリスマスにNICUを訪問して下さっている相川七瀬さんです。今年もNICUや新生児病棟で初めてのクリスマスを過ごす赤ちゃん達とご家族に代表曲の「夢見る少女じゃいられない」をはじめとした素敵な歌声のプレゼントをしてくださいました。

赤ちゃんと一緒にご両親、祖父母様、兄・姉ちゃんたち、NICUで共に赤ちゃんを応援している多くの職種や診療科のスタッフ、皆で相川さんの歌声に魅了されました。皆が実感するのは比較的大きなキーボードや歌声でも赤ちゃん達は嫌がって泣くことはない、大きなアラーム音とは違って音楽の音は赤ちゃん達も穏やかになるということです。

お父さんもお母さんもいつも以上の笑顔だし、それをみて赤ちゃん達もいい表情になっていくと思えました。

相川さん、今年もコンサートに参加していたご家族、それぞれのベッドサイドを訪れ、プレゼントを直接手渡して下さっていました。

赤ちゃん、ご家族、スタッフ、それぞれに笑顔届けようとしてくださった相川さんに心から感謝でした。相川先生のコンサートや訪問で皆が素敵に思えたNICUの空気感を日常的に少しでも自分たちで届け合えるようなNICUを目指していきたいという決意新たにしました。



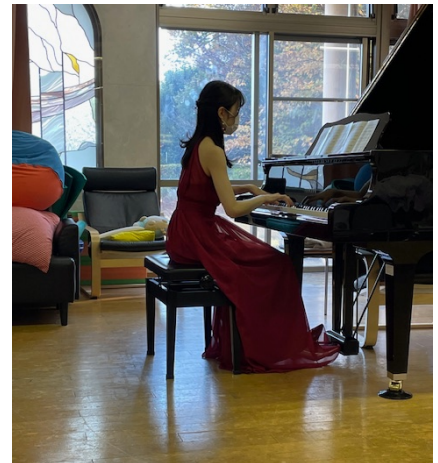
音楽を通して 少しでも勇気や希望を持っていただきたい

オレンジクラブ会員ピアノ演奏 川瀬 愛

2014年3月11日、ボランティア研修会を受講していると、院内アナウンスで、東日本大震災から丸3年が経ち黙禱しましょうと流れました。これからオレンジクラブの会員として皆様の勇気や笑顔に繋げていくんだという心構えと重なり、身が引き締まった瞬間を今でも鮮明に覚えています。

ピアノ連弾、フルートやトランペットとのアンサンブル、ピアノソロと形を変えながら、コロナ渦、自身の環境変化と向き合いながら、あっという間に10年が経ちました。5年目にはセンター長より感謝状を拝受し、続けることの意味と今後も継続して取り組んでいきたいという意志を再認識しました。

私は幼い頃、兄から感染したマイコプラズマ肺炎をこじらせ、生死をさまよいました。容態が悪化し大部屋から小部屋へ移っていくたびに母は泣き、最後二人部屋に移った時、娘はどうなってしまうのかと失意の底にいました。看護師長さんに「悪くなる時はとことん悪くなるものだから諦めないで」と毎日慰めていただいたそうです。それから皆の願いが届いたのでしょうか、奇跡的に少しずつ容態が良くなっていったそうです。この話を母から聞いた時、私は自分だけの命ではないんだ、いつかこども達、ご家族、医療従事者の方々のために貢献できることがあればと思ひ続け、今に至ります。今年、院内3ヶ所で演奏させていただきました。総合待合では素敵なクリスマスツリーと共に、母性病棟では妊婦さんに向けて、重心病棟では施設内にある横浜南

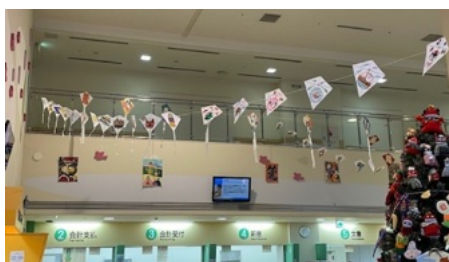


支援学校の音楽の授業で演奏、という形でお届けしました。2ヶ所の初の試みに私を選んで頂き、光栄に思います。後日、学校の子ども達から素敵なメッセージカードが届き、さっそく部屋に飾っております。今回、執筆のお声がけいただき、いつも演奏の準備段階から終わるまで親切にご対応くださるボランティアコーディネーターの加藤様、いつも院内にいらっしゃる皆様が優しく迎えてくださり、温かいお言葉をかけていただき感謝申し上げます。音楽を通して、少しでも勇気や希望を持っていただけるよう励んで参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ぼぼんた通信 No79

きくちゃん

2025年1月8日今年のぼぼんた初活動日だ。“みんな集合”と声かけした訳ではないけれど、何と全員の出席になった。若い方も大勢入会して下さってぼぼんた全体が輝いて見える。さて、医療センターのホールは、お正月飾りが楽しい。険しいお顔の武将や、筋肉隆々の武者たちの絵巻が壁を飾っている。1本に20枚の連巻が4本、室内とはいえ空調？の風に吹かれて動いているのは大空を感じさせて嬉しい。数日前までクリスマス飾りのモミの木は、すっかりお正月の松飾りになって、しし舞のお獅子が金歯を光らせている。渡り廊下の額絵はお正月に変わり、医療センター全体が静かで落ち着いた雰囲気になる。各病棟の廊下は季節飾りの担当が作ったお正月飾りが飾られている。医療センターに来る人も入院している子ども達も、先生方も看護師さんも職員の方たちもお正月を楽しんでほしい。1階の廊下のネットには、今年も皆のおねがいがいっぱい結び付けてある。おねがいが皆叶いますように。



12月のこと 慌ただしい年末の12月、センターではたくさんのサンタ訪問や子どもたちへの贈り物、またイベントがありました。横田基地のサンズオブハワイのサンタはスターウォーズのダースベーダーと一緒に来ました。たくさんの風船とプレゼントを持ってきてくれたのは厚木基地のサンタさん。難病ネットのサンタや日赤のけんけつちゃんも来てくれました。イベントは、クリスマスイブに総合待合で斎藤守也さんのピアノ演奏。病棟に配信もしました。また新しくオレンジクラブの会員になった「こどもホスピス芸術学校」はバイオリンとピアノ演奏をこころの診療病棟で、ひろちゃんたちのフラダンスやクラウンさん等など多くの楽しいクリスマスイベントが行われました。さらにウォルトディズニージャパンやポケモンや子供地球基金さんからのたくさんのプレゼント。今年も日本オラクル社の社員さんからQRコード付きクリスマスカードと、ワンダーアートさんから各地の子どもたちの手書きのカードが届きました。暮らしの保健室あつぎでは「ブックサンタ」の協力で45冊の本をお子さんたちにお届けくださいました。

以前あるご家族が「病院でクリスマスやお正月を過ごすことは余計にさみしい事です。」と話されました。今いろいろな方が、少しでも楽しくなるようにと、お子さんやご家族に寄り添ってくださいます。寄付やイベントをしてくださる皆様に感謝いたします。皆様本当にありがとうございます。

ボランティアコーディネーター 加藤悦興

1月イベント

月	火	水	木	金
6	7	8	9	10
	クラウン (外来・こころ)	SHJ 15:00 クリーン (重心施設) ひだまりカレッジ 10:00 オンライン SHJ		
13	14	15	16	17
	盲導犬と遊ぼう 重心施設 14:00～ こころ 15:00～	ぼぼんた 10:30 4 東・5 南・4 西 (HCU2) タッピングタッチ 14:00～15:00 SHJ 15:00 5 南	(肢体つばさの木) SOC 10:15 オンライン	
20	21	22	23	24
フットサル 15:30 5 西 16:30 通院患者さん 対象 体育館	クラウン ・外来 ・14:30～ こころ ひろちゃんとフラダンス (重心施設・総合待合)			おもちゃで遊ぼう 10:00～11:00 HCU2 14:00～15:00 クリーン
27	28	29	30	31
		ぼぼんた 10:30 4 南・HCU2・つばさの木 SHJ	SOC 15:00 オンライン (全セッション対象) 子どもホスピス芸術学校 14:00 4 東	

- ・きょうだい預かり 毎週月火水金曜日 11:00～17:00
- ・外来活動 月～金曜日 8:30～16:00
- ・患者図書 月～金曜日 10:00～14:00
- ・重心作業 毎週火・金曜日 10:00～12:00
- ・縫製活動 第2・第3水曜日 10:00～12:00
- ・園芸活動 第2・第4火曜日 (他火曜日適宜)
- ・フラワーアレンジメント毎月1回(4か所)
- ・つるし雛 毎月第1月曜日
- ・作業 第4木曜日 ・手芸 第3水曜日 ・高野さんとピアノ 毎週火曜日 10:45頃
- ・ピアサポート 毎週火～木曜日 10:00～14:00

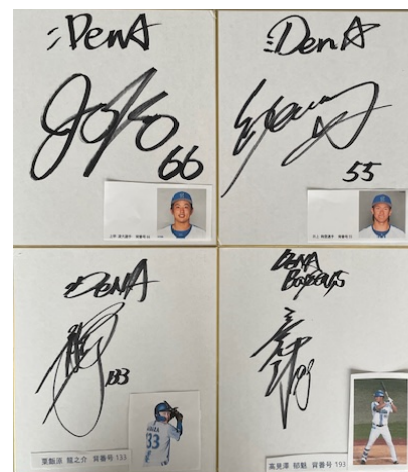


患者さんの
作品

🏆 横浜 DeNA ベイスターズの優勝に沸き、まだ熱気がある昨年12月23日たくさんのこども用ユニフォームをもって4人の選手、番号55番の井上絢登選手、66番上甲凌大選手、133番栗飯原龍之介選手、193番高見沢郁魅選手が13セッションを訪問し、そのあと体育館で子どもたちと交流していただきました。また来年も来てください。



左から、石川副院長・高見沢選手・栗飯原選手・
黒田総長・後藤医務監・中島事務局長・上甲選手・
井上選手



選手のサイン